

(別紙1)

平成27年度児童福祉施設等ケースワーカー研修会 実施計画

※ 13時から16時

開催日	テーマ	目的	講師	時間と内容等	申込み期限
平成27年 6月23日(火)	接遇研修 (社会人としての基本的マナーを学ぶ)	仕事をする上で、保護者・関係機関の方などに関わるばあい、その方々にとって目の前の職員がその組織の顔となる。独自のやり方でなく、誰もが知っておくべき基本的なビジネスマナーを学び、明日からの関わりに活かす。	増田 千佳子 有限会社 スイコー商会	①13:00～16:00 プロフィール IT関連会社で社内教育と通販顧客サポートを兼任し、培った経験を基に顧客ニーズに合ったビジネスマナー研修や スキルアップ研修を一般企業、公的機関、各種団体にて実施。また学生・求職者を対象に就職支援についても 指導活動中。職業訓練を運営管理。	平成27年 6月16日(火)
平成27年 7月28日(火)	ケースワーカーの役割を理解する	ケアワーカーであった職員が、ある時からケースワーカーの働きをしなければならない状況(人事異動等)があるが、実際にどのような働きをすべきか、ケースワーカーの基本的な働きをしり、そのための技術を学びます。 (インテーク(初回面接)の取り方、記録の書き方、アセスメントなど)	西井 啓二 鳥取子ども 学園 希望館 館長	①講義 13:00～14:30 ケースワーカーの役割について(インテーク、アセスメント、記録の取り方など) ②ロールプレイ 14:40～15:40 面接場面、アセスメントのロールプレイ ③振り返り 15:40～16:00	平成27年 7月21日(火)
平成27年 9月29日(火)	他機関を理解する (他機関でのケースワーカーの働きを理解する)	福祉施設でケースワークをしていく上で、生活保護を受給している家庭と出会うことは少なくない。そのなかで生活保護についてしっかり理解し、保護課のケースワーカーの働きを知り、地域資源として活用できるよう、制度を学ぶ。	川本由美子 福祉相談センター 児童相談課長 川本由美子 福祉相談センター 児童相談課長 西井 啓二 鳥取子ども学園 希望館 館長	①講義 13:00～14:30 生活保護制度の概要 ②事例検討 14:40～15:40 ③振り返り 15:40～16:00	平成27年 9月15日(火)
平成27年 11月24日(火)	自分の価値観を理解し、自分を振り返って他者を考える。	他者と関わるうえで、支援者の価値観はアセスメントの基準になっている。だが、その支援者の価値観が必ずしもよい支援につながる価値観とは限らない。その上で自分の価値観(自分の感じ方や癖、特徴・特性など)を理解し、より他者の理解を深める方法を学ぶ。	山下 学 鳥取子ども学園 希望館 副館長 セラピスト	①講義 13:00～14:30 心理視点でのアセスメントについて学ぶ ②演習 14:40～15:40 自己理解、自己研鑽をする(自分の感じ方を知る) ③振り返り 15:40～16:00	平成27年 11月17日(火)
平成28年 1月26日(火)	他施設での支援の流れを聞き、研修の振り返りをする。	児童家庭支援センターの業務はたいへん柔軟で地域によって働きが多少異なっている。その上で、児相の保管機能を担っているセンターがどのようなケースワークをし地域によってどのような分業、連携をしているのか学び、1年の振り返りをする。	北條直子 児童家庭支援センター 中四国ブロック幹事 北條直子 児童家庭支援センター 中四国ブロック幹事 西井 啓二 鳥取子ども学園 希望館 館長	①講義 13:00～14:30 他児童家庭支援センターでの取り組みについて ②事例検討 14:40～15:40 グループに分けた事例検討 ③振り返り 15:40～16:00	平成28年 1月19日(火)